

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子予選リーグ】
No. D-4	Year Month Day Time 2017 年 8 月 9 日 13 : 00
場所 Place	CNAアリーナ★あきた

秋田県中学校体育連盟  
秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB										
五橋		山田										
47 ●	<table border="1"> <tr><td>12 1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>12 2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>17 3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>6 4th</td><td>13</td></tr> <tr><td>- OT</td><td>-</td></tr> </table>	12 1st	15	12 2nd	18	17 3rd	9	6 4th	13	- OT	-	55 ○
12 1st	15											
12 2nd	18											
17 3rd	9											
6 4th	13											
- OT	-											

主審:Referee 佐藤 義晴 秋田県  
副審:Umpire 藤原 明德 秋田県  
テーブルオフィシャル:Table officials 秋田市立秋田南中学校

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	峰田 和也	CAP	2	0	1	0	4	4	×	今井 星矢	CAP	18	2	6	0	5
5	×	村上 太陽		5	1	1	0	3	5	×	西館 晴輝		2	0	1	0	2
6	×	上野 大介		11	0	4	3	5	6	×	大手 敬佐		7	0	3	1	2
7	×	秋月 晃樹		8	0	4	0	2	7	/	高橋 真那斗		7	1	2	0	4
8	/	阿部 翔太郎		5	0	2	1	2	8	/	藤原 礼楽		0	0	0	0	0
9	×	廣瀬 敏志		9	0	4	1	2	9		西館 諒大		-	-	-	-	-
10		中澤 太還		-	-	-	-	-	10	×	近藤 瑞樹		8	0	4	0	0
11	/	立花 翔陽		7	1	2	0	0	11		藤田 悠雅		-	-	-	-	-
12		伊藤 龍之介		-	-	-	-	-	12		川崎 純愛		-	-	-	-	-
13		工藤 大和		-	-	-	-	-	13		藤原 統		-	-	-	-	-
14		吉野 雄太		-	-	-	-	-	14	×	近藤 響樹		13	0	6	1	0
15		永沼 弘大		-	-	-	-	-	15		鈴木 侑照		-	-	-	-	-
16		鶴橋 一帆		-	-	-	-	-	16		阿部 滉士		-	-	-	-	-
17		上野 龍希		-	-	-	-	-	17		菊地 琉雅		-	-	-	-	-
18		栗田 慧雅		-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		加藤 篤洋							監督		村上 貴彦						
コーチ		曾根 敏幸							コーチ		藤原 里絵						
合計				47	2	18	5	18	合計				55	3	22	2	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともハーフコートのマンツーマンDefでスタート。五橋は#5村上の3Pで先制。対する山田は#4今井のゴール下でのシュートが決まる。高さで上回る山田はインサイド中心の攻撃を展開。#4今井の3Pなどで加点する山田であったが、五橋も#9廣瀬の速攻が連続で決まりリードを許さない。終了間際に#5西館のゴール下が決まり、山田が15-12と3点リードで第1Qを終える。

第2Q、#7高橋のドライブと#4今井の3Pで点差を広げた山田。対する五橋は1回目のタイムアウトを請求した後にオールコートのプレスDefを仕掛ける。ターンオーバーが続いてしまった山田はたまたま1回目のタイムアウト。なおもディフェンスの手を緩めない五橋はインターセプトなどから#11立花、#6上野が徐々に加点。苦しい展開になった山田も最後は#14近藤のインサイドなどで確実に加点していき、33-24と山田が9点リードで前半を終える。

第3Q、一層激しいオールコートのプレスDefを続ける五橋はインターセプトから#7秋月や#6上野、#9廣瀬が続けて加点。36-35と点差を一気に詰め1点差とすると、残り3分、#7秋月のローポストからのターンシュートでついに逆転。#4今井のファウルトラブルで苦しい山田も#10近藤と#14近藤、#6大手のドライブで食らいつく。第3Qは42-41で山田が1点リードを死守し終了。

第4QもプレスDefを続ける五橋は#4峰田の速攻で逆転。しかし焦らない山田はインサイドプレイやリバウンドで勝る。残り5分、五橋はタイムアウトを請求するも山田#4今井がミドルシュートやドライブインと止まらない。タイムアウト後に痛恨の5回目のファウルで#4今井の退場後もエースの穴を山田が全員で埋め、55-47とリードを最後まで守り切った。

最後までボールをがむしゃらに追い続けた両チームの健闘を讃えたい。

文責 【 越前谷 健 】